

SPODフォーラム2013
平成25年8月21日

学生支援概論

(学務系職員養成プログラム(学生支援) レベルⅠ)

米澤 慎二

SPOD-SDコーディネーター
拠点-SDコーディネーター

米澤 慎二

- 1974. 3 国立大洲青年の家(業務)
- 1977. 9 国立特殊教育研究所(人事)
- 1982. 4 香川医科大学(人事)
- 1985. 4 愛媛大学(医事・人事)
- 1998. 4 東京医科歯科大学(人事)
- 2001. 4 愛媛大学(人事)

専門:教職員の給与決定

- 2004. 4 愛媛大学総務部
(命専門員, 広報室長, 総務課長, 危機管理室長, 人事課長)
- 2012. 4 愛媛大学教育学生支援部長
- 2016. 3 定年

国家公務員
文部科学省
文部事務官

三〇年

大学職員

十二年

到達目標

1. 学生支援業務の概要を説明することができる
2. 学生対応にかかる現状・問題点を説明することができる
3. 学生生活にとって必要な情報を提供することができる
4. 学生行事の企画運営を学生に指導, 助言することができる

追加しました

アイスブレイク

- 自己紹介

自己紹介をしてください。時間は、一人2分間です。

その前に、条件があります。

○楽(嬉)しかった思い出を話してもらいます。

○5W1Hをメモする。

○メモを使って自己紹介してください。

5W1H

When: いつ

Where: どこで

Who: だれが

What: なにを

How: どんな方法で

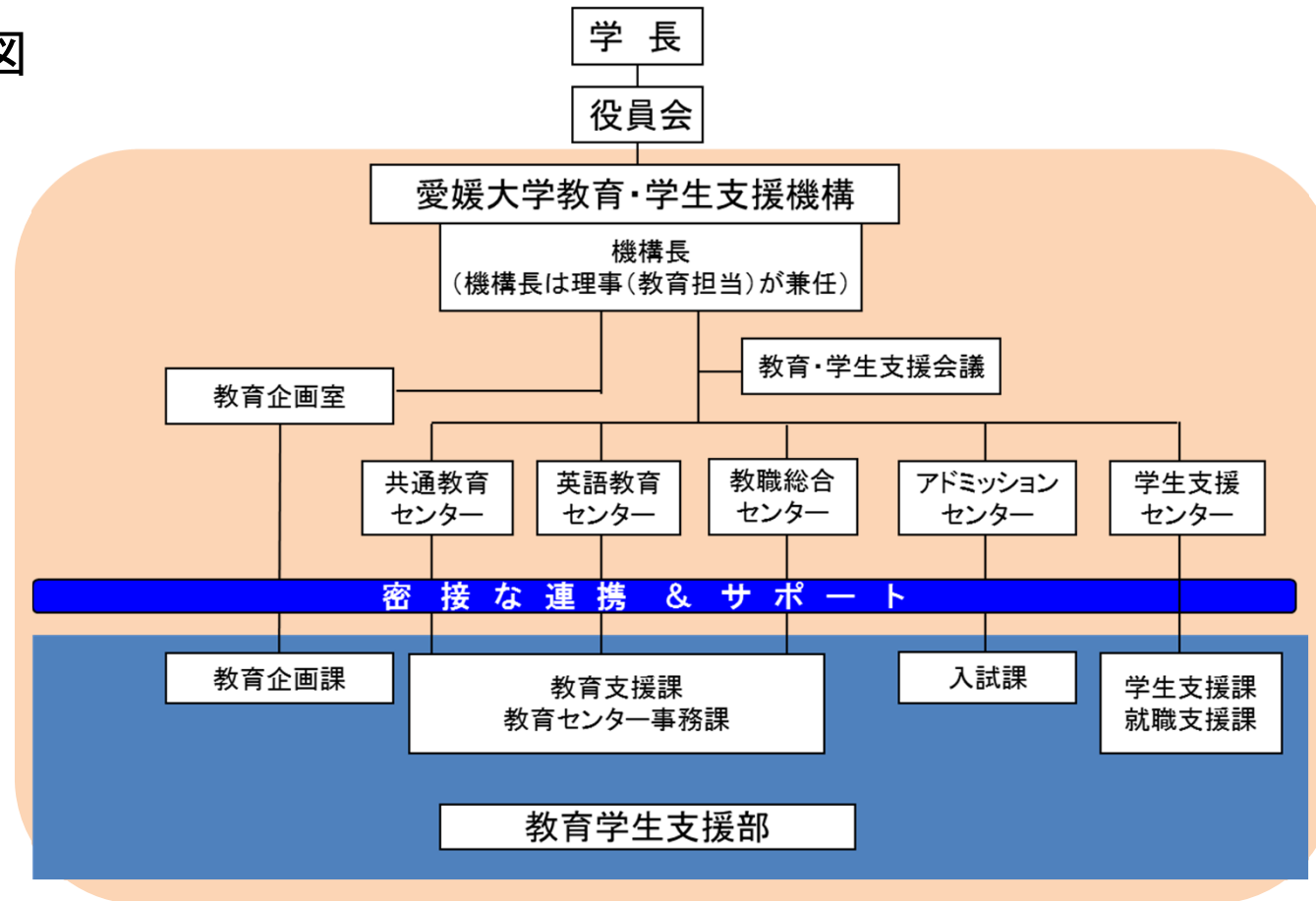
Why: なぜ

1. 学生支援業務の概要を説明することができる

教育・学生支援機構

(平成16年12月1日設置)

■ 組織図



■ 特徴

- 1 **学長・役員会に直結**した総合的な企画・実施組織 → 理事(教育担当)が機構長
- 2 **委員会方式を極力排除** → 審議機関は教育学生支援会議と共通教育センター会議のみ
- 3 教育・学生支援に関わるすべての**全学的事項**を扱う
- 4 **事務組織「教育学生支援部」**による全面的なサポート

学生支援業務

- 入試
- 教務
- 学生生活
- 就職

学生支援の業務

- ◆履修上の支援
- ◆就職・キャリア支援
- ◆経済的な支援
- ◆留学生の支援
- ◆障がい学生の支援
- ◆不登校・ひきこもり学生の支援
- ◆悩みを抱える学生の支援
- ◆課外活動, ボランティア活動の支援
- ◆学生の生活面の指導
- ◆学生からの相談対応
- ◆事件・事故等の対応

愛媛大学教育学生支援部学生生活課の業務分掌

1. 学生の生活に関する相談及び指導助言
2. 学生のセクシャル・ハラスメント等人権侵害
3. 学生相談
4. 学生宿舎の事務及び維持・管理
5. 学生の懲戒に係る事務の連絡調整
6. 学生の福利厚生
7. 学生の生活支援
8. 入学料の免除, 徴収猶予
9. 授業料の免除, 徴収猶予及び分納
10. 入学料・授業料に係る学生の経済相談
11. 奨学金事務
12. 奨学金に係る学生の経済相談

13. 学生旅客運賃割引証
14. 学生教育研究災害傷害保険等の保険
15. 学生の課外教育
16. 課外活動施設の維持・管理
17. 学生団体の諸届, 諸証明
18. 学生団体の評価
19. 学生団体の特別支援
20. 学生の行事
21. 学生の自治活動, 団体結成, 集会, 印刷物及び掲示等
22. 学生ボランティア
23. 学生の表彰に係る事務の連絡調整
24. 学生に対する広報
25. 障害学生の支援
26. 障害者修学支援委員会の事務

職員に必要な知識等

- ◆国の施策・方針，審議会等の答申の内容を知る。
- ◆制度，規則，通達等の内容を知る。
- ◆所属する大学又は高専の理念・目標，学生支援の取組み状況と課題を知る。
- ◆他大学・高専の特色ある学生支援の取組みを知る。
- ◆学生の傾向を知る。

2. 学生対応にかかる現状・問題点を説明することができる

大学事務職員とは

- 学校教育法第92条
大学には学長，教授，准教授，助教，助手及び事務職員を置かなければならない。ただし，教育研究上の組織編制として適切と認められる場合には，准教授，助教又は助手を置かないことができる。
- 大学設置基準第41条
大学は，その事務を処理するため，専任の職員を置く適当な事務組織を設けるものとする。
- 大学設置基準第42条
大学は，学生の厚生補導を行うため，専任の職員を置く適当な組織を設けるものとする。

厚生補導

「わが国の教育の現状」(昭和28年度)から

厚生補導とは、学生を生活し成長する主体としてとらえ、かれらが学園を中心とする生活の中で、その個性に応じて最高度の成長と発達を遂げ、将来民主的な社会人としてその技能を発揮するための資質を身に着けうるように、大学が学生に対して与える科学的、組織的な指導と援助の活動をいうのである。

「我が国の文教施策」(平成2年度)から

大学においては、学生の人間形成を図るため、正課の教育における指導のみならず、正課外の諸活動についても様々な形で援助・助言・指導を行っている。これは、戦後、新制大学の発足に伴い、アメリカの大学で行われていた学生に対するサービス(Student Personnel Service)の考え方が導入されたものである。この学生サービスは、「厚生(Wel-fare)・・・物的・間接的な援助」と「補導(Guidance)・・・人的・直接的指導」の二つの面から成っており、このため我が国では、これを「厚生補導」と称している。

ワーク1

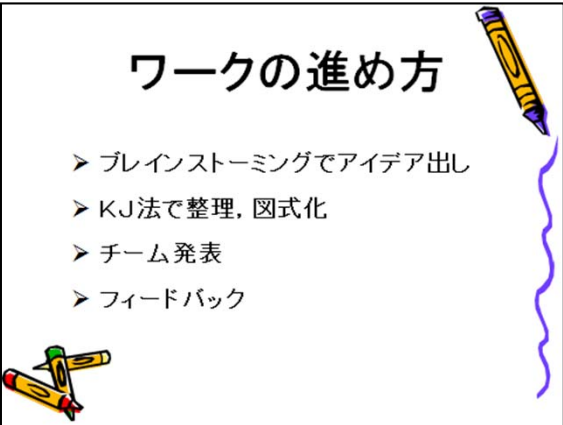
学生対応で

- 困っていること, 問題だと思っていることを整理する。

・ブレインストーミング, KJ法の活用

ワークの進め方

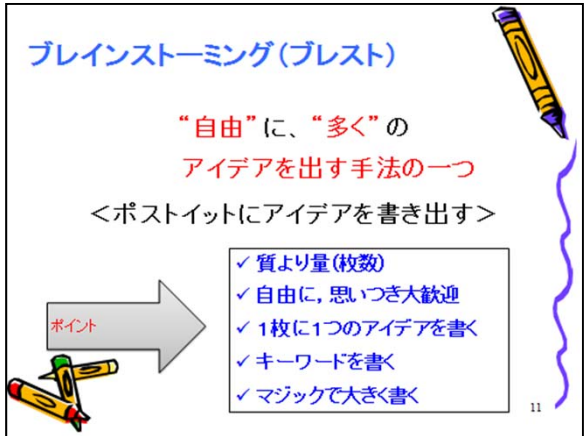
- ブレインストーミングでアイデア出し
- KJ法で整理, 図式化
- チーム発表
- フィードバック



ブレインストーミング(ブレスト)

“自由”に、“多く”の
アイデアを出す手法の一つ

＜ポストイットにアイデアを書き出す＞



- ✓ 質より量(枚数)
- ✓ 自由に, 思い付き大歓迎
- ✓ 1枚に1つのアイデアを書く
- ✓ キーワードを書く
- ✓ マジックで大きく書く

11

学生生活サイクルの特徴

	領域	入学期 (自分で決める)	中間期 (変化が少ない)	卒業期 (卒業後の準備)
学生の課題	学業	・大学の授業	・専門領域	・卒業単位, 卒論
	生活	・自律的な生活	・自律的生活の維持	・学生生活が終る
	進路	・入学した大学(学部)への帰属意識	・研究室の選択, 進路の検討	・進路選択
	対人	・新しい関係	・集団生活, 親からの自立	・別れ, 親子間で進路の不一致

参考資料

田中真理, 池田忠義, 堀 匡, 佐藤静香(2012)

PDブックレットVol.3「学生のための心理・教育的支援」東北大学高等教育開発センター
鶴田和美(2001)「学生生活スタイルとは」培風館

学生支援に関する答申等

廣中レポート

大学における学生生活の充実方策について（報告）

－学生の立場に立った大学づくりを目指して－

（2000年6月 文部省高等教育局）

「教員中心の大学」から「学生中心の大学」への視点の転換

愛媛大学図書館報「図書館だより」第84号(2008.4.1)

「学生中心の大学」を実現するためのキャンパス作りー柳澤康信ーから引用

「広中レポート」では今後の大学のあり方として、視点の転換を求めている。具体的には、教員の研究に重点を置く「**教員中心の大学**」から学生に対するきめ細かな教育・指導に重点を置く「**学生中心の大学**」への転換である。

そして、教育改革が「教育を提供する立場の論理だけでなく、学習する側の立場に立ったものとして進められる必要がある」と指摘している。

ここで注意しなければならないのは、「学生中心」とはあくまで「教員中心」の対語としての用法であって、**学生を甘やかしたり、お客さん扱いしたり、特権者扱いしたりする意味での「学生中心」ではない**。実際、「広中レポート」では、「学生の短期的な満足のみに応えるような迎合的なものであってはならない」と戒めている。

3. 学生生活にとって必要な情報を提供することができる

情報提供の手段

- 掲示板
- インターネット（WEB）
- 文書
- 電話
- 呼び出し

ワーク2

学生対応の

- 問題点を解決

ワーク1で整理した問題点等を解決する。

- ブレスト, KJ法で整理

ワークの進め方

- ブレインストーミングでアイデア出し
- KJ法で整理, 図式化
- チーム発表
- フィードバック



ブレインストーミング(ブレスト)

“自由”に、“多く”の
アイデアを出す手法の一つ

＜ポストイットにアイデアを書き出す＞



- ✓ 質より量(枚数)
- ✓ 自由に, 思い付き大歓迎
- ✓ 1枚に1つのアイデアを書く
- ✓ キーワードを書く
- ✓ マジックで大きく書く

11

4. 学生行事の企画運営を学生に指導, 助言することができる

平成17年8月27日, 28日

え！愛媛大学ですの！



会場 愛媛大学 城北キャンパス
日時 8月27日(土)18:30~21:00
8月28日(日)09:00~20:54

平成17年8月27日(土), 28日(日)愛媛大学城北キャンパスが, 24時間テレビ28「愛は地球を救う」のイベント・募金会場になり, 多くの方に募金していただきました。

10月18日(火), 松友南海放送社長から小松学長に, 24時間テレビ28「愛は地球を救う」への協力・支援に対して, 感謝状が贈られました。



^^ 至 南海放送

4階 救命救急講習会 13:00~ 27

募金メイン会場 45

昆虫展 1

昆虫展 22

農・写真展

カフロテク 43

淡交会 44

写真展 24

写真展 37

事務室

スタッフ 13

入試相談 13

放送大学 37

トイレ 9

メインステージ 9



20:30～エンディング(キャンドルナイト)

17 31 32

車いす
介護用品展示
アテックス、いうら

26

健康相談
妊婦体験

國船だ上

福祉ゾーン

健康ゾーン

38

39

祭

ふわふわ

20

トビテ

3

8

36

18

1

シ

34 起震車

33 献血車



お祭り

企業・団体ゾーン

地球・環境ゾーン

29

42

41

40

5

work

23

12

21

16

2

駐車場

>>> 圖書館前

4 放送研究会

30 平成カラス号展示

到達目標

1. 学生支援業務の概要を説明することができる
2. 学生対応にかかる現状・問題点を説明することができる
3. 学生生活にとって必要な情報を提供することができる
4. 学生行事の企画運営を学生に指導, 助言することができる

追加しました

参考文献等

- 文部科学省(2000)「大学における学生生活の充実方策について(報告)ー学生の立場に立った大学づくりを目指してー」(通称:廣中レポート)
- 田中真理, 池田忠義, 堀 匡, 佐藤静香(2012)「PDブックレットVol.3『学生のための心理・教育的支援』」東北大学高等教育開発センター
- 野本 ひさ(2012)「学生支援概論～大学はどこまで学生を支援するか?～」SPODフォーラム2012研修資料
- 愛媛大学ホームページ



ご静聴ありがとうございました

私の好きな言葉 「守・破・離(しゅはり)」
守・・・基本
破・・・応用
離・・・個性

私の解釈です。

yonezawa.shinji.mh@ehime-u.ac.jp